

第44回北陸リウマチ・関節研究会抄録（2015年7月26日）

・膝関節内注射における注射針を検討した事について

土田整形外科クリニック 土田 敏典

連絡先〒920-1156石川県金沢市田上の里2丁目128番地

土田整形外科クリニック

土田 敏典

【はじめに】

変形性膝関節症の患者に対する保存療法の一つとして、ヒアルロン酸注射を行うが、ヒアルロン酸は粘弾性が高く、細い針では薬液注入時に医師の指にかかる負担が大きく注入しにくいため、やや太い注射針を使用する事が多い。筆者はこれまで23G針を用いて注射していたが、ヒアルロン酸注射時痛を訴える患者がいた。第196回北陸整形外科集談会で、檜木茂先生が「超音波ガイド下膝関節内注射」を発表した際、25G針を用いている事を知り、筆者も25G針を用い、注射時疼痛が軽減した。

更にヒアルロン酸関節内注射する時の患者への疼痛を軽減するため、注射針について検討したので、報告する。

【対象および方法】

両側変形性膝関節症25例（男性3例、女性22例、平均年齢75.9歳）に対し、片膝毎にテルモ社製の25G針、27G針を用い、分子量90万のヒアルロン酸2.5mlを注射した。注射時間と注射時痛の比較を行った。

【結果】

注射時間は25G針で平均4.8秒、27G針で平均9.8秒だった。注射時痛は、25G針では25例(41.7%)、27G針では13例(21.7%)、同じが22例(36.7%)と、25G針の方が疼痛を訴えた。

【考察】

ヒアルロン酸は粘弾性が高く、細い針では薬液注入時に医師の指にかかる負担が大きくなるが、ヒアルロン酸関節内注射する時の患者への疼痛を軽減するためには、注射針を細くすることも重要と考えられる。今回の結果からは、27G針では、注射時間が長くなったが、25G針よりも疼痛を訴える症例は少なかった。

【まとめ】

両変形性膝関節症30例に対し、高分子ヒアルロン酸製剤の関節注射を行った。

25G（25mm長）針と、27G（19mm長）針を左右膝に分けて注射した。

注射時間は、25G針__平均4.8秒、27G針__平均9.8秒だった。

注射時疼痛の左右差では、25G針が痛い方__25膝、27G針が痛い方__13膝、疼痛が同じのだったのが22膝だった。